

事務事業名	雲南市社会福祉協議会補助金【法人運営事業】		所属部	健康福祉部	所属課	健康福祉総務課			
総合計画体系	政策名	〈Ⅲ〉支えあい健やかに暮らせるまち〈保健・医療・福祉〉		所属G	総務G				
	施策名	〈24〉地域福祉の充実		担当者名	板持 裕朗				
	目的・対象	市民	意図	地域で支え合い、安心して暮らす。					
	基本事業	〈069〉地域福祉課題の解決に向けた取組の支援		電話番号	0854-40-1041 (内線) 2131				
目的・対象	市民	意図	課題解決に向けて取り組む。			予 算 科 目	0:1:1:5:0:2 0:5:0:5:7:7	大 事 業 名 中 事 業 名	社会福祉総務管理事業 社会福祉協議会法人運営事業補助金

1 現状把握【DO】

(1) 事務事業の概要

① 対象(誰、何を対象にしているのか)	② 意図(対象がどのような状態になるのか)
市民	地域で安心して生活できる
③ 事業内容(期間限定複数年度事業は全体像を記述)	
事業期間 <input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 ( H16 年度～ ) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ( 年度～ 年度 )	社会福祉法に基づき設置された雲南市社会福祉協議会が、社会福祉関係者、関係機関の参加・協力のもと、地域の人々が安心して生活できる「福祉のまちづくり」の実現を目指したさまざまな事業、活動が実施されるよう、その運営全般について協議、補助を行う。
④ 主な活動 R3年度実績(R3年度に行った主な活動) ・補助金交付 ・法人運営全般に関する協議	⑤ これまでの改革・改善経緯 (この事務事業に関してこれまでどのような改革改善をしているか?) 補助金の削減に努め、H27年度に当初比30%削減が達成できた。 しかし、近年は日本経済の回復とともに賃金引上げの情勢となっており、人件費(職員給与)については増加傾向にあることから、補助金額も増えている。

(2) 事務事業の指標

成果指標	単位	R元年度(実績)	R2年度(実績)	R3年度(実績)	R4年度(計画)
ア 1年以内に福祉ボランティア活動をしたことがある市民の割合	%	34.7	31.4	27.8	35.0
イ 住み慣れた地域で安心して暮らしている高齢者の割合	%	74.9	76.8	78.3	78.3
ウ					
エ					

(3) 事務事業のコスト

① 事業費の内訳 (R3年度決算)	② コストの推移	単位	R元年度(決算)	R2年度(決算)	R3年度(決算)	R4年度(計画)
法人運営事業に対する補助金:110,597千円	国庫支出金	千円				
	県支出金	千円				
	地方債	千円				
	その他	千円				
	一般財源	千円	110,684	112,556	110,597	112,546
	事業費計	千円	110,684	112,556	110,597	112,546

2 事後評価【SEE】

① 事業実績における成果	社会福祉法第109条に規定されている地域福祉を推進するため、雲南市社会福祉協議会の事業計画に沿った事業が実施されている。
② 事業実施するうえでの課題	地域福祉が進展する上で、社会福祉協議会の役割は非常に大きいものがある。社会福祉協議会の事業・体制について行政も一緒になって協議・検討を行い、より地域福祉が進展するよう環境を整えていくことが必要である。
③ 課題解決に向けた改革改善等	雲南市社会福祉協議会への補助金が、有効かつ効率的に運用されるよう精査・整理する。